

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 11 日現在

機関番号：13301

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26370078

研究課題名(和文) G・ボッテローのマキアヴェッリ批判と16世紀南欧国家理性論の形成

研究課題名(英文) Botero's critique against Machiavelli and formation of the theory of Ragion di Stato in the south Europe

研究代表者

石黒 盛久 (Morihisa, ISHIGURO)

金沢大学・歴史言語文化学系・教授

研究者番号：50311030

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,700,000円

研究成果の概要(和文)：ボッテローの著作『国家理性論』の翻訳・注解を刊行した。その解説文や『社会文化史学』及び『エクフラシス』掲載予定の論文執筆により、ボッテローの西洋政治思想史における位置につき展望を得るに至った。これと並び我が国内外においてボッテローの思想に関する口頭発表を行ったが、これらについても今後論考として公刊予定である。加えてマキアヴェッリからボッテローを経て、ホッブスに至る国家理性論思想の展開の考究を主題に、イタリアよりフィレンツェ大学教授 Daniela Coli 氏を招聘し、早稲田大学と関西大学にて講演会を実施した。また国家理性論の近代日本の文化への継受を主題とする論考を執筆した。

研究成果の概要(英文)：I translated in English Botero's Ragion di Stato. This translation was published as Japanese version of Ragion di Stato. Then I published some articles which considered his position in the history of Western political thought using the translation. At the same time, I made some presentations of about Botero in Japanese, English and Spanish. I'm preparing to publish them. I invited from Prof. Daniela Coli of Florence Univ. to realize symposiums concerning to the Italian tradition of Ragion di Stato from Machiavelli. On these works, I found the fundamental character of Botero's Ragion di Stato as the emergency means which is in contrast with Machiavelli's Arte dello Stato as the arcana of sovereign. Machiavelli tried create the supreme political power concentrated in the hand of monarch to construct the political order. Contrary to it, Botero want to find at what condition a monarch is permitted to use unlimited power concealed at the base of all political order.

研究分野：近世イタリア政治思想史

キーワード：国家理性論 ボッテロー イタリア政治思想 マキアヴェリズム

## 1. 研究開始当初の背景

著作『マキアヴェッリとルネサンス国家』において、マキアヴェッリがその思想の普遍性を、『君主論』第9章の主題とした市民的君主政理念から逆照射することにより提示した。「王のいる共和国としての王国」理念と「王のいない王国としての共和国」理念の錯綜を通じて描き出される「国家主権」論の展開こそ、マキアヴェッリが提示した市民的君主政理念の可能性の発現に他ならない。他方我が国のマキアヴェッリ理解は、彼を「近代的国家観の定礎者」というレッテルのもとに片付け、彼の思想が近代的国家観をどのように定礎しているのか具体的に解明する努力に乏しかった。

こうした問題意識において、マキアヴェッリと近代の完成された「国家主権」概念との連関を辿るにあたり、一つの媒介項を提供してくれるのが、ポッターロを端緒とする南欧諸国に成熟した「国家理性」論である。それは先行するマキアヴェッリ思想の反倫理性を糾弾しながら、他方国家(君主)権力の絶対性・超越性を正統化する論理の探求という点において、マキアヴェッリ思想における君主独裁と共和政体賛美の臨界点としての市民的君主政理念と発想について重なり合う側面を多分に有する観念であった。

このようなマキアヴェッリ思想の核心としての市民的君主政理念を、ポッターロが如何に継承し克服したかの考察は、続く17世紀西欧の「国家主権」理念に比し、未だ十分に解読されていない16世紀後半南欧の「国家理性」論の本質を、西洋政治思想史上に定位する格好の出発点となろう。

## 2. 研究の目的

16世紀イタリアの政治思想家ポッターロの著作『国家理性論』を先行するマキアヴェッリ政治思想、とりわけその市民的民主政理念の連関から分析・考察しその特性を確定し、

続いてカンパネラ、更に他のイタリア・スペインの著作家の諸論との比較を介して、「国家理性」論の近代に向かう深化を測定する。

## 3. 研究の方法

本研究は以下の諸作業を通じて遂行される予定であった。(1)ポッターロ『国家理性論』の翻訳と注解、内容分析。(2)マキアヴェッリ市民的君主政理念との比較。(3)ポッターロの知的自己形成過程の探査。(4)ポッターロ以外の著述家の「国家理性」観の概観。(5)バロック期南欧における市民的君主政理念の継承・克服過程の解明。このような手続きを経て、ポッターロの政治思想の特性が、前後の思想家の主張との対比の中で明確化されると同時に、そのような思想的文脈に回収されない、その固有性の把握が期待された。

## 4. 研究成果

具体的研究成果としてはまず当初の予定通り、ポッターロの著作『国家理性論』の翻訳・注解を完成させ、これを風行社より刊行した。またこれに添えた解説文や『社会文化史学』(論文)及び『エクフラシス』掲載予定の論文(論文)の執筆により、ポッターロ政治思想の西洋政治思想史における一と特質につき、大まかな展望を得るに至った。これらの論文執筆と並び研究代表者は、我が国内外においてポッターロの思想を主題とした研究発表を行い、これもまた今後随時論考として公刊の予定である。加えてマキアヴェッリからポッターロを経て、ホブズに至る国家理性論・国家主権論思想の転換の諸相の考究を主題に、イタリアよりこの問題に関わる主要な研究者の一人、ダニエラ・コーリ氏を招聘し、早稲田大学と関西大学において二回の講演会を実施した。また国家理性論の現代、なかならず近代日本の政治文化への継受を解明するため、論考を執筆した(論文)。

これらの研究を通じて、『君主論』『ディスコルスィ』に代表されるマキアヴェッリの思

想が、社会的秩序の崩壊状況を前提に貴族 / 平民という二つの階級の政治的均衡を、市民的君主政 から 絶対政 へという権力の集中により克服しようと目論んでいたのに対して、対内的には貴族と貧民の均衡媒介の場としての中産階級に、対外的には覇権国を核とする諸領邦の国際的均衡に依拠する既存の政治体制（世襲君主権力）を前提とするボッターロの政治思想が、かかる均衡の保証する 法 の有効性を承認しつつ、それを逸脱する例外的事態への対処としてのみ 国家理性 の行使を許容するという構造を通じて、マキアヴェッリ的な 国家理性 の盲目的氾濫に、一定の抑止をかけるものであることが解明された。

かかるボッターロの思想における、政治権力の合法性ないしは道義性と超越性ないしは恣意性との葛藤は、国際関係論的には現代のそれにおける、事実上の国際法としての国際世論の機能を重視する立場としてのいわゆる英国学派の論調や、国内政治に関する国家緊急権の行使の是非やその範囲の議論を、思想史的に基礎づけるものとなると考えられる。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 13 件)

石黒盛久「マキアヴェッリからボッターロへ - 16 世紀イタリア政治思想の特質」『社会文化史学』60 号、査読有、2017、刊行予定

石黒盛久「マキアヴェッリと対決するボッターロ - 16 世紀後半イタリア「国家理性論」の特質をめぐる一考察」『エクフラシス』6 号、査読有、2017 年 3 月、pp.134-140。

石黒盛久「前期近代日本におけるマキアヴェッリ受容 - 西田幾多郎と「国家の理由の問題」 - 」『金沢大学人間社会学類歴史言語文化学系論集』9 号、査読無、2017 年 3 月、pp.15-28。

D・コーリ / 石黒盛久「翻訳 ホブズの口

ーマ : タキトゥスとマキアヴェッリの間で」『世界史研究論叢』6 号、査読無、2016 年 10 月、pp.95-110。

G.-ボッターロ / 石黒盛久、翻訳と注解「G. ボッターロ『国家理性論』(1589 年ヴェネツィア)第 7 巻」金沢大学外国語教育センター『言語文化論叢』20 号、査読無、2016 年 3 月、pp.217-234。

G.-ボッターロ / 石黒盛久、翻訳と注解「G. ボッターロ『国家理性論』(1589 年ヴェネツィア)第 6 巻」『金沢大学人間社会学域学校教育学類紀要』8 号、査読無、2016 年 3 月、pp.85-95。

G.-ボッターロ / 石黒盛久、翻訳と注解「G. ボッターロ『国家理性論』(1589 年ヴェネツィア)第 5 巻」『金沢大学人間社会学域学校教育学類紀要』8 号、査読無、2016 年 3 月、pp.71-84。

D・コーリ / 石黒盛久「翻訳 ホブズとマキアヴェッリにとっての武力と法」『世界史研究論叢』5 巻、査読無、2015 年 10 月、pp.78-89。

石黒盛久「将基面貴己『ヨ ロッパ政治思想の誕生』」『社会思想史研究』39 号、2015 年 9 月、査読有、pp.250-253。

石黒盛久「マキアヴェッリ研究の『根堀り論』と『先取り論』: 解釈上のオセロ・ゲーム」『ノモス』36 巻、査読無、2015 年 6 月、pp.50-67。

G.-ボッターロ / 石黒盛久、翻訳と注解「G. ボッターロ『国家理性論』(1589 年ヴェネツィア)第 3 巻 ~ 第 4 巻」金沢大学外国語教育センター『言語文化論叢』19 号、査読無、2015 年 3 月、pp.197-217。

G.-ボッターロ / 石黒盛久、翻訳と注解「G. ボッターロ『国家理性論』(1589 年ヴェネツィア)第 2 巻第 11 章 ~ 第 17 章」『金沢大学人間社会学域学校教育学類紀要』7 号、査読無、2015 年 3 月、pp.133-150。

G.-ボッターロ / 石黒盛久、翻訳と注解「G.

ボッテロ『国家理性論』(1589年ヴェネツィア)第2巻第1章～第10章」『金沢大学人間社会学域学校教育学類紀要』7号、査読無、2015年3月、pp.117-132。

〔学会発表〕(計6件)

Morihisa ISHIGURO, “*Botero como crtico de Maquiavelo Algunas consideraciones sobre diversos aspectos del pensamiento politico italiano de finales del siglo XVI*”, Lectura en Unversidad de Santiago de Compostela facultad de Ciencias Politicas y Sociales, Snatiago de Compostela (Spain), 2017.3.10.

Morihisa ISHIGURO, *Alcune riflessioni sulla fortuna di Machiavelli in Giappone, Italia e Giappone a confronto: cultura, psicologia, arti*, Firenze(Italy), 2016.12.12.

石黒盛久「マキアヴェッリからボテロへ - 16世紀イタリア政治思想の特質」社会文化史学会59回大会、2016・09・23、筑波大学東京キャンパス文京校舎(東京都文京区大塚)。

Morihisa ISHIGURO, “*From Machiavelli to Botero— La ragion di Stato(1589) and Principal Characters of Italian Political Philosophy in the late 16th Century*”, 早稲田大学中世・ルネサンス研究所第7回シンポジウム、2016.9.16、早稲田大学(東京都新宿区西早稲田)。

石黒盛久「制度の政治思想史 - 鹿子生浩輝著『征服と自由:マキアヴェッリとルネサンス・フィレンツェ』(風行社、2013年)を読む」社会思想史学会大会、2015.11.08、関西大学千里山キャンパス(大阪市吹田市山手町)。

石黒盛久「マキアヴェッリ政治思想とルネサンス・フィレンツェ - 鹿子生浩輝『征服と自由』(風行社、2013年)を読む」関西大学法学研究所シンポジウム、2014.11.09、関西大学千里山キャンパス(大阪府吹田市山手

町)。

〔図書〕(計2件)

G・ボッテロ / 石黒盛久訳、風行社、『国家理性論』、2015、335頁。

A・バルベーロ / 石黒盛久訳、論創社、『近世ヨーロッパ軍事史』、2014、229頁。

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

石黒 盛久(Morihisa ISHIGURO)  
金沢大学・歴史言語文化学系・教授  
研究者番号：50311030

(2) 研究分担者

( )

研究者番号：

(3) 連携研究者

( )

研究者番号：

(4) 研究協力者

( )